

# 子育て世帯における仕事と生活の調和実態調査について

すべての人が、意欲を持って、充実感を得ながら働き、家庭や地域においても多様な暮らし方を尊重する、活力ある社会の実現が求められています。

そこで、今回は特に子育て中の方が、仕事と家庭生活をともに大切にして働くために求められていることを把握し、今後の活動に反映させていくためにこの調査を実施いたしますので、ご協力ください。

また、調査結果については2009年1月26日に開催します「男女共同参画県民会議県民フォーラム」で報告する予定です。

2008年10月

奈良県男女共同参画県民会議

ご回答いただくにあたってのお願い

- 1) 各設問について、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。問によっては番号を記入していただくところがあります。
- 2) ご回答が済みましたら、一緒にお渡しした返信用封筒に入れ、2008年11月30日（必着）までに、切手を貼らずにそのまま投函してください。
- 3) この調査は個人を特定するためのものではありません。また、個別の回答について、回答者を特定できる状態で公表することは一切ございません。安心して、お答えください。
- 4) この調査についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

## 奈良県男女共同参画県民会議事務局

〒630-8501 奈良市登大路町30番地 奈良県くらし創造部男女共同参画課内  
Tel:0742-27-8729 Fax:0742-24-5403 Mail:danjo@office.pref.nara.lg.jp

## 【まずは、あなたのことについて教えてください】

- ① 性別は [ 男性 ・ 女性 ]
- ② 年齢は [ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ]
- ③ 働いておられる方は業種は何ですか  
〔 農林漁業 ・ 建設業 ・ 製造業 ・ 電気/ガス/水道業 ・ 運輸業 ・ 情報通信業 ・ 卸売/小売業 ・  
金融/保険/不動産業 ・ 飲食/宿泊業 ・ 医療/福祉 ・ 教育/学習支援 ・ 公務 ・ 働いていない ・  
その他 ( ) 〕
- ④ 働いておられる方は職種は何ですか  
[ 事務職 ・ 営業職 ・ 販売職 ・ 技術職 ・ 研究職 ・ その他 ( ) ]
- ⑤ 同居している家族はどなたですか [ 子 ・ 配偶者 ・ 自分の親 ・ 配偶者の親 ・ その他 ]
- ⑥ 同居している子どもの人数とその年齢はおいくつですか  
[( )人、( )歳 ・ ( )歳]

## 〔働き方について〕

問1 あなたの今の働き方は以下のいずれに当てはまりますか。あてはまるものを1つ選んでください。

1. 週 35 時間以上勤務で働いている
2. 週 35 時間未満勤務で働いている
3. 今は働いていないが、今後働きたい
4. 今は働いていないし、今後も働かないつもり

問2 現在までのあなたのキャリアは以下のいずれに当てはまりますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

1. 就職してから一度も退職することなく働き続けている
2. 働きたかったが、やむを得ない理由で退職したことがある
3. 自分の意思で退職したことがある
4. 一度も働いたことがない
5. その他( )

問3 働いている方にお聞きします。あなたが働く理由は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

1. 自分や家族が生活していくため
2. 自分や家族の生活の質の向上のため
3. 退職すると、今の待遇で再就職することは困難だから
4. 今の仕事が好きだから
5. キャリアを積むため
6. 人や社会との接点を持つておくため
7. 理由はないが、働くのは当然のことだから
8. 理由はないが、なんとなく
9. その他( )

問4 退職の経験がある方にお聞きします。退職した理由は何ですか。該当するものをすべて選んでください。

1. 仕事や職場が嫌になったから
2. やりたいこと(趣味や仕事など)が他にあったから
3. 自分の体調不良や病気など、体力に不安があったから
4. 結婚したから
5. 自分または配偶者が妊娠、出産したから
6. 結婚や出産でやめる風潮が職場にあったから
7. 結婚または子育てのため転居したので通勤できなくなったから
8. 家事、育児が大変だったから
9. 家事、育児に専念したかったから
10. 家族の介護(看護)が必要になったから
11. 家族から辞めるよう言われたから
12. 解雇されたから
13. その他( )

問5 現在のあなたにとって、理想とする働き方はどのような働き方ですか？次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

1. 結婚、出産したら、産前産後休暇や育児休業を利用し、その後も週 35 時間以上勤務で働き続ける
2. 結婚、出産したら、産前産後休暇や育児休業を利用し、その後も週 35 時間未満勤務で働き続ける
3. 結婚を機に職種や勤務形態を変え、週 35 時間未満勤務で働く
4. 出産を機に職種や勤務形態を変え、週 35 時間未満勤務で働く
5. 出産を機に退職または休職し、育児に一段落ついたら週 35 時間以上勤務で働く
6. 出産を機に退職または休職し、育児に一段落ついたら週 35 時間未満勤務で働く
7. 結婚を機に退職し、もう働かない
8. 出産を機に退職し、もう働かない
9. 働かない
10. その他( )

## 〔職場環境について〕

問6～9は現在働いている方と今まで過去3年以内に働いたことがある方にお聞きします。今の職場または直近に働いていた職場についてお答えください。なお、質問の中の育児休業とは法律に定められた労働者が子の養育のために休業することを指し、事業所独自に取得可能期間が上乘せされたものも含まれます。

問6 次にあげる休暇(休業)は取りやすい(取りやすかった)と思いますか。それぞれについて該当する番号を1つずつ選び、回答欄に記入してください。

- 6-1)産前産後休暇      6-2)育児休業      6-3)家族の看護等による急な休暇
1. 取りやすい
  2. まあまあ取りやすい
  3. 男性は取りやすい
  4. 女性は取りやすい
  5. どちらとも言えない
  6. やや取りにくい
  7. 取りにくい
  8. 制度がない
  9. その他( )

【回答欄】 6-1)  、6-2)  、6-3)

問7 産前産後休暇中(産休中)および育児休業中(育休中)の職員の代替職員は主にどのように補充されますか(されましたか)。それぞれについて該当する番号を1つずつ選び、回答欄に記入してください。

1. 週 35 時間以上勤務の職員が補充される
2. 週 35 時間未満勤務の職員が補充される
3. 補充されない
4. 補充される時とされないときがある
5. その他( )

【回答欄】 産休中

、 育休中

問8 時間短縮勤務(時短勤務)やフレックスタイムなど、勤務形態の変更の希望は申し出やすい(申し出やすかった)と思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

1. 申し出やすい
2. まあまあ申し出やすい
3. どちらとも言えない
4. やや申し出にくい
5. 申し出にくい
6. 制度がない
7. その他( )

問9 平均的な業務量の時期において、正規の労働時間を超えて勤務する日数は、1週間あたりどのくらいありますか(ありましたか)。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

1. ほぼ毎日
2. 3～4日程度
3. 1～2日程度
4. ほとんど無い

### 〔仕事と生活の調和について〕

問10 あなたは生活の中で、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活(地域活動、学習、趣味、付き合いなど)」のどれを優先したいですか。自分の考えに最も近いものを次の中から1つだけ選んでください。

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない

問11 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」を両立する上で悩みはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 子どもと過ごす時間が少ない
2. 家事や育児が手抜きになってしまう
3. 配偶者の理解が得られない
4. 配偶者以外の家族からの理解が得られない
5. 同僚の理解が得られない
6. 上司の理解が得られない
7. 地域での付き合いが難しい
8. 自分の時間がもてない
9. 学校行事や子供が病気になった時など、仕事を休むことが多くなってしまう
10. 教育上、子供の将来に不安を感じることがある
11. 自分の体力、健康に不安を感じることがある
12. 特に悩みはない
13. その他( )

問12 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」を両立するために、事業所や職場の上司に何が求められると思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 産前産後休暇の取得促進
2. 女性の育児休業の取得促進
3. 男性の育児休業の取得促進
4. 短時間勤務制度の創設・利用促進
5. 学校行事参加休暇制度の創設・利用促進
6. 有給休暇の取得促進
7. 社会活動の為にボランティア休暇制度等の創設利用促進
8. 子の看護などの急な休暇への柔軟な対応
9. ワークシェアリング等、働き方の改革
10. 残業時間縮減のための業務改革
11. 経営者層の意識改革
12. 管理職の意識改革
13. 社員全体の意識改革
14. 今のままで良い
15. 病児、夜間などに対応できる多様な保育施設の充実
16. その他( )

何か意見等があれば自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。